

令和4年度

道民・利用者意見把握調査

調査結果報告書

令和5年3月



地方独立行政法人  
道総研 北海道立総合研究機構

## 目 次

◆調査の趣旨、調査の種類・項目・対象者	2
◆回答状況	3
1. 道民意見把握調査	4
2. 利用者意見把握調査【共同研究・受託研究】	11
3. 利用者意見把握調査【技術支援】	15
4. 利用者意見把握調査【知的財産】	18

## ◆調査の趣旨

本調査は、道総研の第3期中期計画・年度計画（令和4年度）における「第2-3-(2) 道民意見の把握及び業務運営の改善」を踏まえ、道民の皆様及び道総研の研究、技術支援、知的財産などの各種制度を利用された方から幅広く意見を聴取し、その結果を業務の実施方法や運営の改善などに反映させることを目的に実施したものです。

## ◆調査の種類・項目・対象者

### (1) 道民意見把握調査

	イベント参加者	市町村、関係団体
対象者	道総研が実施したイベントに参加された方	道内市町村、各種関係団体
調査方法	アンケート方式により実施した。	
実施期間	令和3年11月～令和4年10月	令和4年3月～4月

### (2) 利用者意見把握調査

	共同研究・受託研究	技術支援	知的財産
対象者	令和3年度に北海道立総合研究機構（道総研）と共同研究・受託研究を実施した大学、企業、団体等 （令和4年度に継続して研究を行っている機関を含む）	令和4年度に北海道立総合研究機構（道総研）の技術支援制度（7項目）を利用した大学、企業、団体等	調査開始月末時点において、特許等実施契約を締結している企業等
調査方法	Web アンケート方式もしくは直接送付により実施した。		
実施期間	令和4年5～6月	令和4年4月～12月	令和4年1月～2月

### ※【各調査項目の説明】

#### ○共同研究

技術の向上や製品開発等を希望する企業等からの依頼により、道総研と企業等とが知識・技術・ノウハウ等を持ち寄り、共同で行う研究

#### ○受託研究

道以外の行政機関や企業、団体等の外部機関からの依頼により、契約又は寄附により実施する研究

#### ○技術支援（対象：技術相談、技術指導、設備使用、技術開発派遣指導、課題対応型支援、研修生の受入、視察・見学）

地域や企業等の製品・研究開発の支援や、企業等の技術者や地域産業の担い手、大学等の学生の育成支援を目的として、これまでの道総研の研究成果や知見、公知の情報等を用いて、道総研の施設内または施設外において、技術的な問題の解決に向け指導・支援する制度

#### ○知的財産

道総研が保有する特許権や実用新案権等

## ◆回答状況

### (1) 道民意見把握調査

調査対象	回答数
道民向けイベント参加者	134
企業向けイベント参加者	468
市町村	115
関係団体	35
合計	752

※道民向けイベント

公開デー、道民向けセミナー等

※企業向けイベント

成果発表会、企業向けセミナー等

### (2) 利用者意見把握調査

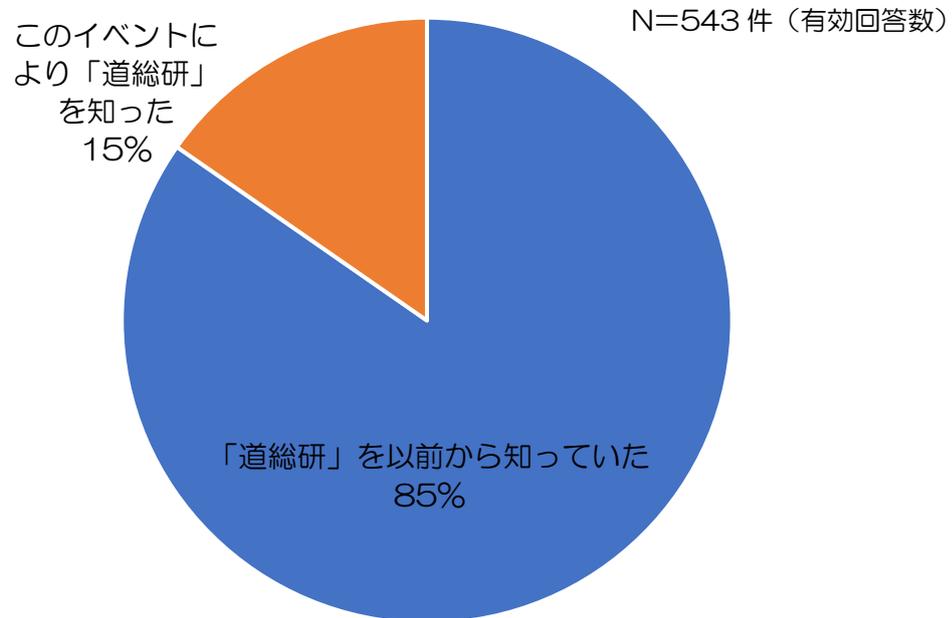
調査項目	配布数	回答数	回答率(%)
共同研究・受託研究	81	22	27.2
技術支援	—	60	—
知的財産	4	4	100.0

※技術支援のアンケート配布数は未集計

## 1. 道民意見把握調査

【問1 「道総研」をご存知ですか。】

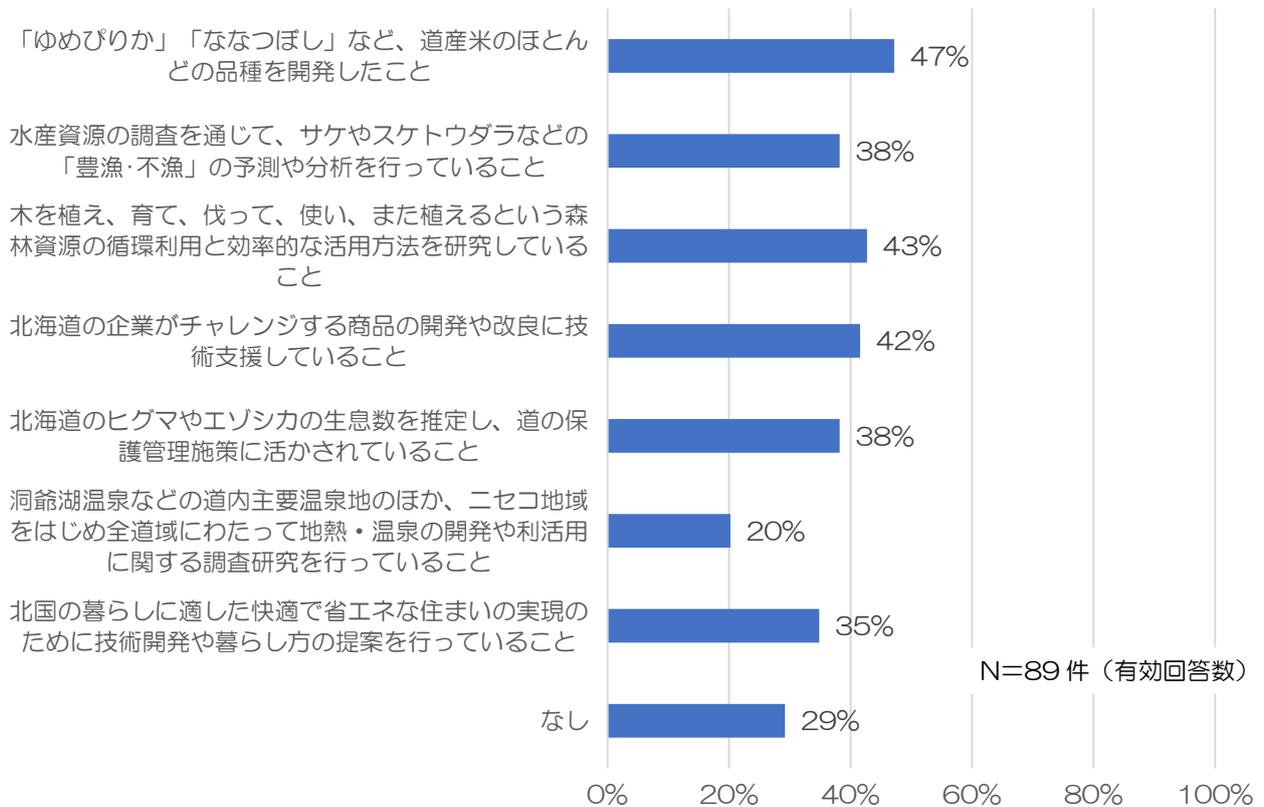
〔道民・企業向けイベント参加者〕



○ 道総研の認知度（『道総研』を以前から知っていた」と回答した人の割合）は85%であった。

【問2 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

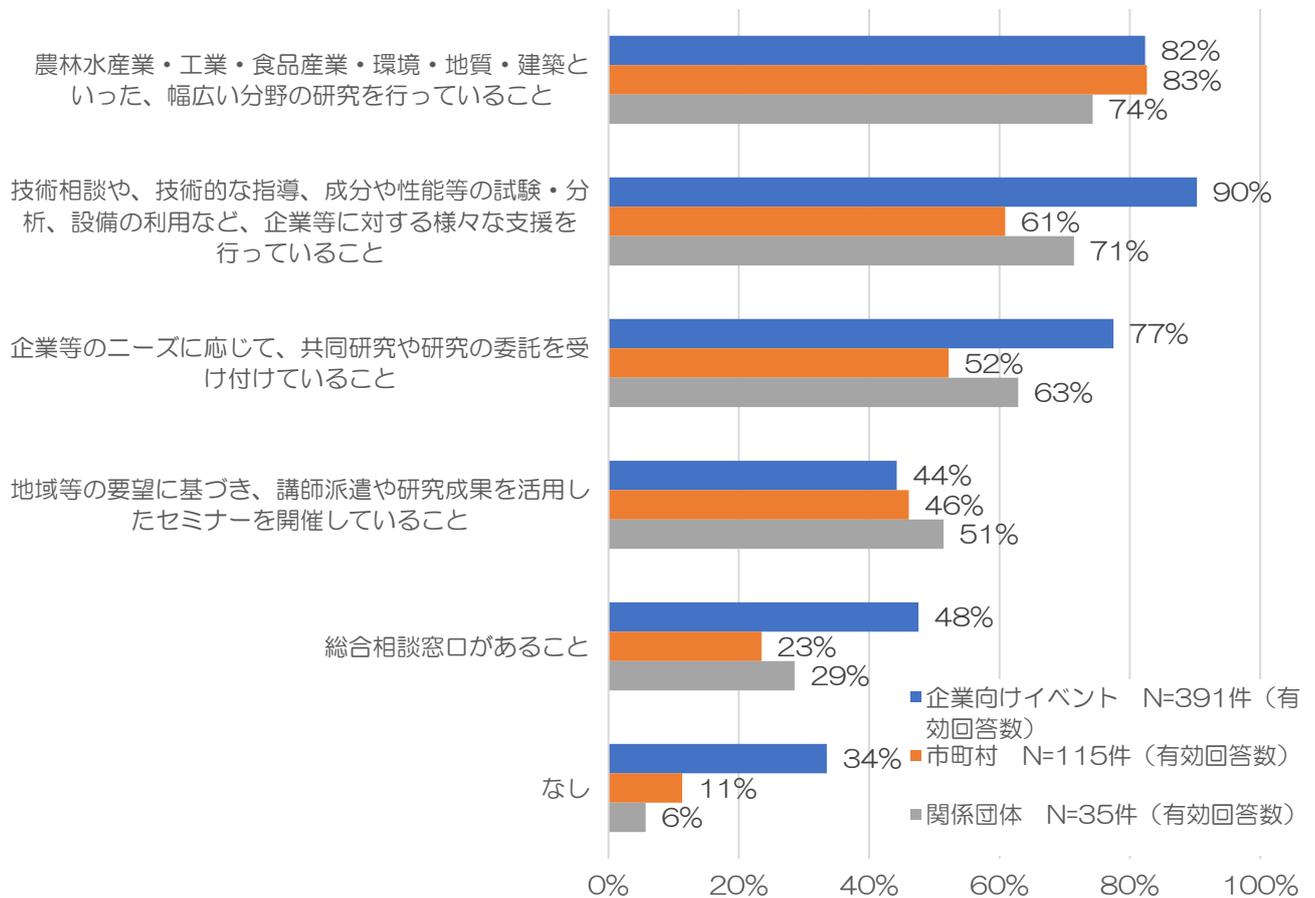
〔道民向けイベント参加者〕



- 最も認知度が高い取組は、「道産米の品種開発」で47%であった。
- 最も認知度が低い取組は、「地熱・温泉の開発及び調査研究」で20%であった。

【問3 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

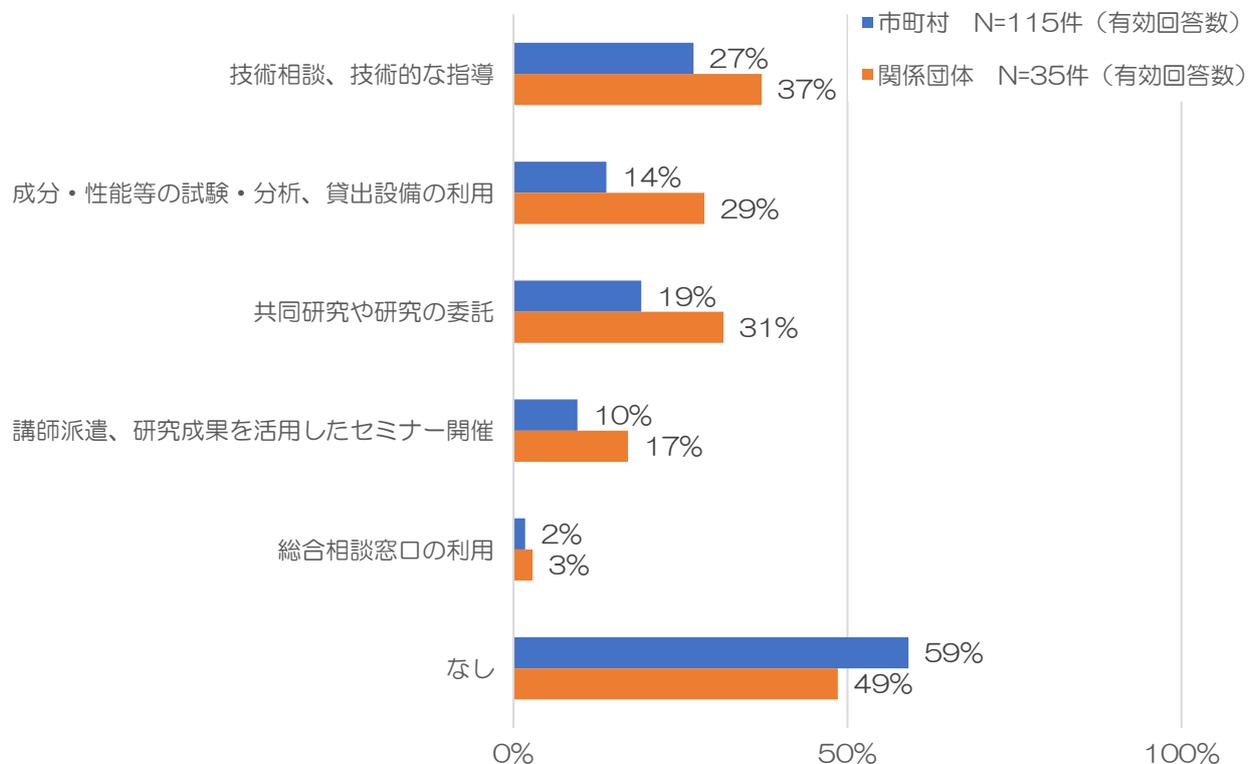
〔企業向けイベント参加者、市町村・関係団体〕



- 最も認知度が高い取組は、企業向けイベント来場者では「企業に対する様々な支援」で90%、市町村・関係団体では「幅広い分野にわたる研究」で、市町村が83%、関係団体が74%であった。
- 最も認知度が低い取組は、企業向けイベント来場者では「セミナーを開催していること」で44%、市町村・関係団体では「総合相談窓口」で、市町村が23%、関係団体が29%であった。

【問4 「道総研」の次の取組のうち、活用したことがあるものはありますか。(複数回答可)】

〔市町村・関係団体〕



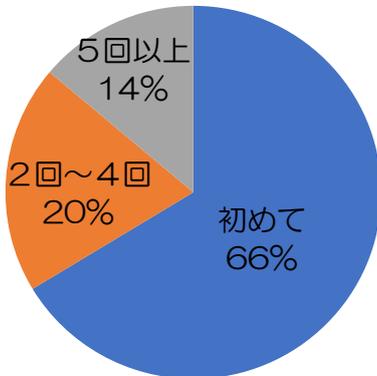
- 最も活用したことがある取組は、「技術相談や技術的な指導」で、市町村が27%、関係団体が37%であった。
- 回答が最も少なかったのは、「総合相談窓口の利用」で、市町村が2%、関係団体が3%であった。

【問5-1 道総研のイベントに参加するのは、何回目ですか。】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

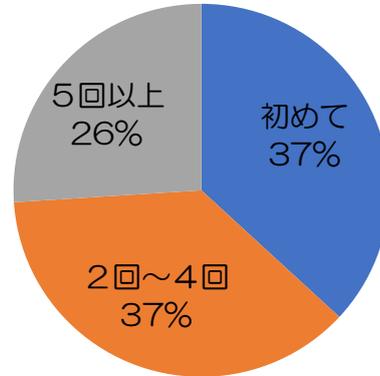
＜道民向けイベント＞

N=101件（有効回答数）



＜企業向けイベント＞

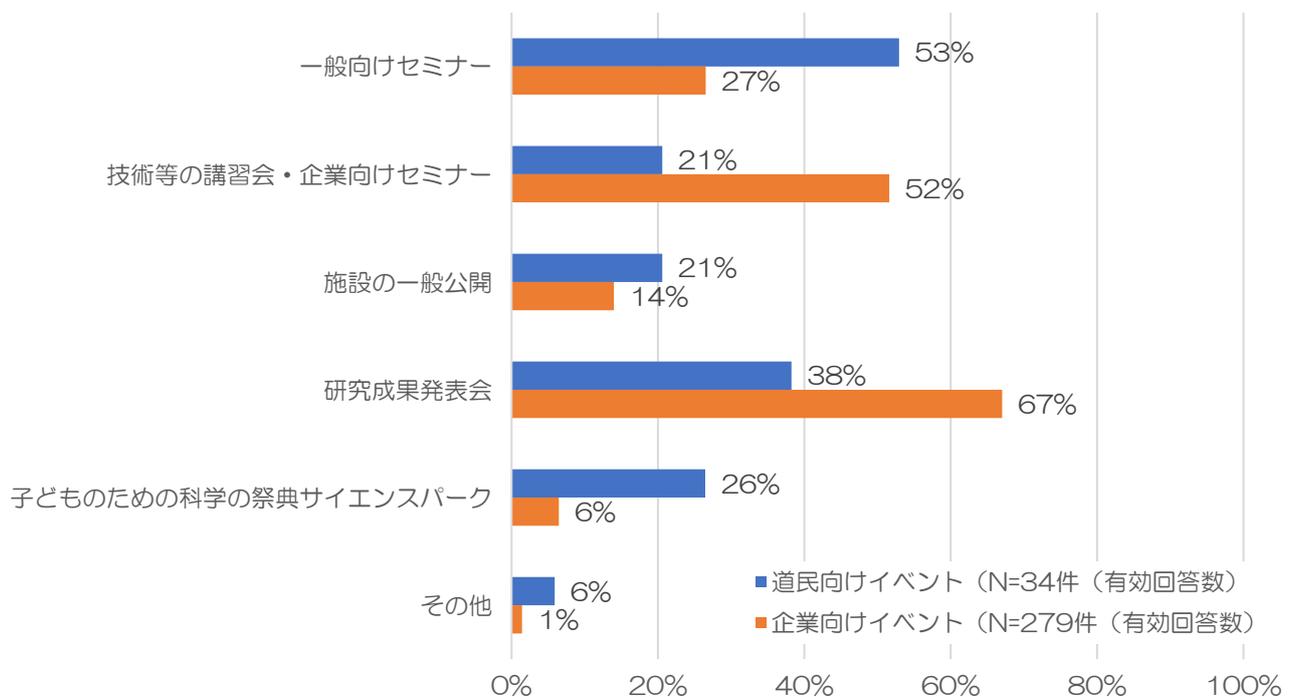
N=443件（有効回答数）



- 道民向けイベントの参加者は、「初めて」が66%で、最も多かった。
- 企業向けイベントの参加者は、「2回～4回」が37%、「5回以上」が26%で、2回以上の参加者が「初めて」を上回った。

【問5-2 過去に参加したイベントはどれですか。（複数回答可）】

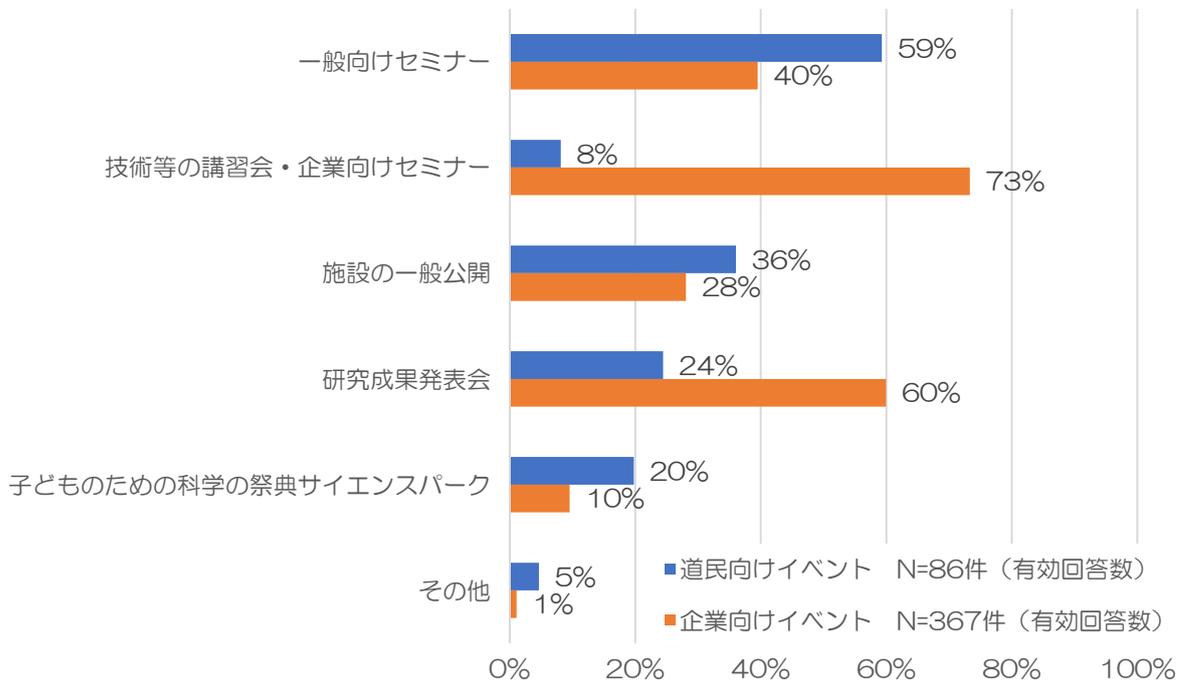
〔道民・企業向けイベント参加者〕



- 過去に参加したことのあるイベントについて、道民向けイベント参加者では「一般向けセミナー」が53%、次いで「研究成果発表会」が38%、企業向けイベント参加者では「研究成果発表会」が67%、次いで「技術等の講習会・企業向けセミナー」が52%であった。

【問6 どのようなイベントに参加してみたいですか。(複数回答可)】

〔道民・企業向けイベント参加者〕



○ 「参加してみたい」とした方が最も多いイベントは、道民向けイベント参加者では「一般向けセミナー」が59%、企業向けイベント参加者では「技術等の講習会・企業向けセミナー」が73%であった。

<参加してみたい理由等>

●一般向けセミナー

道民向け イベント参加者	知らない世界をたくさん知りたい
	知識習得のため
	北海道の事や地球や自然の事等を学習したい
企業向け イベント参加者	専門家がわかりやすく解説してくれるから
	どのような研究に取り組んでいるかを知りたい
	最新の研究・技術情報がわかるから

●施設の一般公開

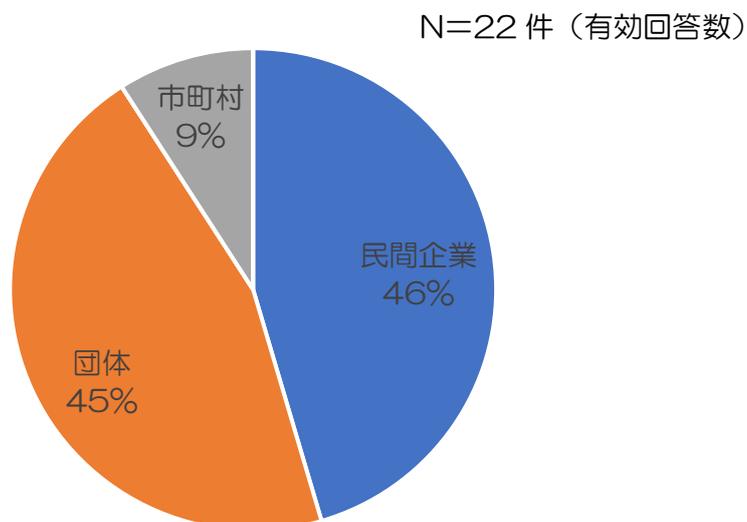
道民向け イベント参加者	何をしているかのイメージが湧くから
	研究施設等を見学し、マッチングや協創（共創）を検討したい
企業向け イベント参加者	どのような設備があるか知りたい
	研究施設において研究員の方と情報交換したい

●研究成果発表会

道民向け イベント参加者	どのような研究が地域活性化につながるか考えたい
	研究成果を知ることが出来る
企業向け イベント参加者	各分野における最新動向を知りたい
	研究開発で使った機器が見ることができるから
	研究成果を身近に体験できるから

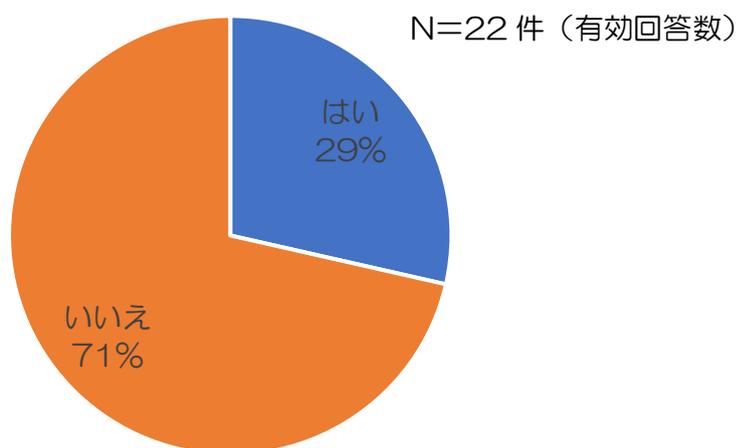
## 2. 利用者意見把握調査（共同研究・受託研究）

【回答者属性】



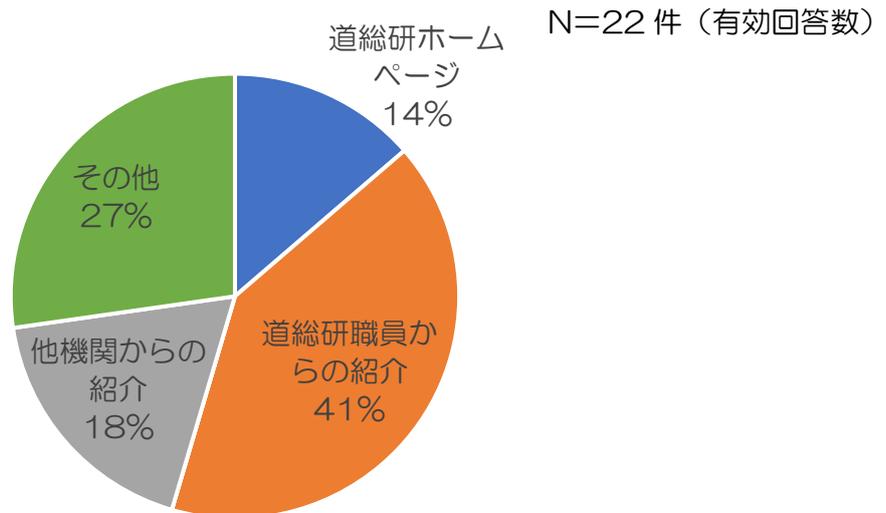
- 「民間企業」が46%（10機関）であった。
- 次に、協議会、工業会等の「団体」が45%（10機関）、「市町村」が9%（2機関）であった。

【問1 共同研究・受託研究を行ったのは初めてですか？】



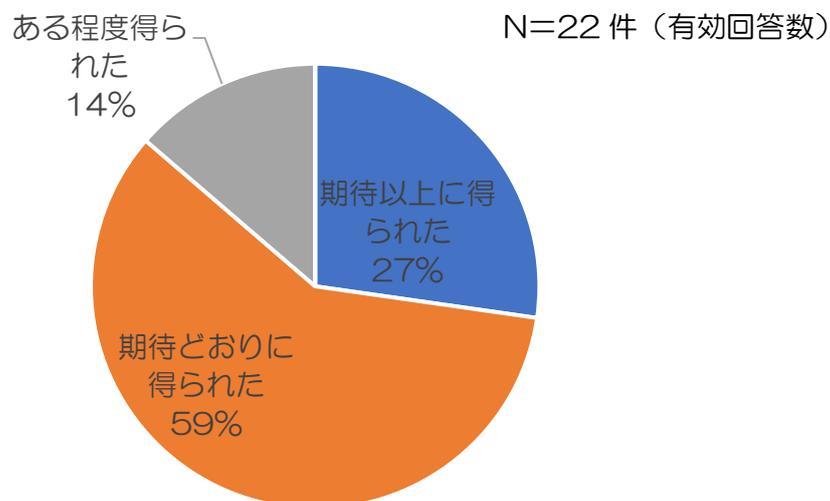
- 「いいえ」が71%（15機関）であった。

【問2 道総研が共同研究・受託研究を受け入れていることを知ったきっかけは何でしたか？】



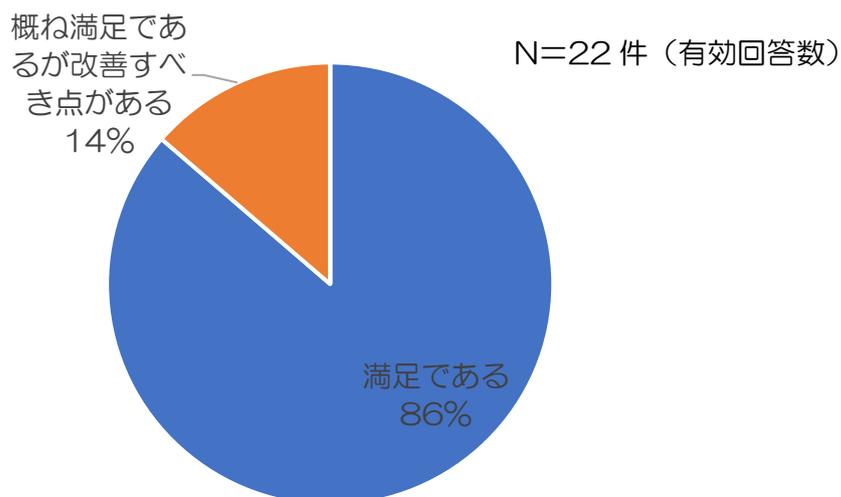
- 「道総研職員からの紹介」が41%（9機関）であった。
- 次いで、「その他」が27%（6機関）、「他機関からの紹介」が18%（4機関）、「道総研ホームページ」が14%（3機関）であった。

問3 今回の共同研究・受託研究で期待した成果が得られましたか？】



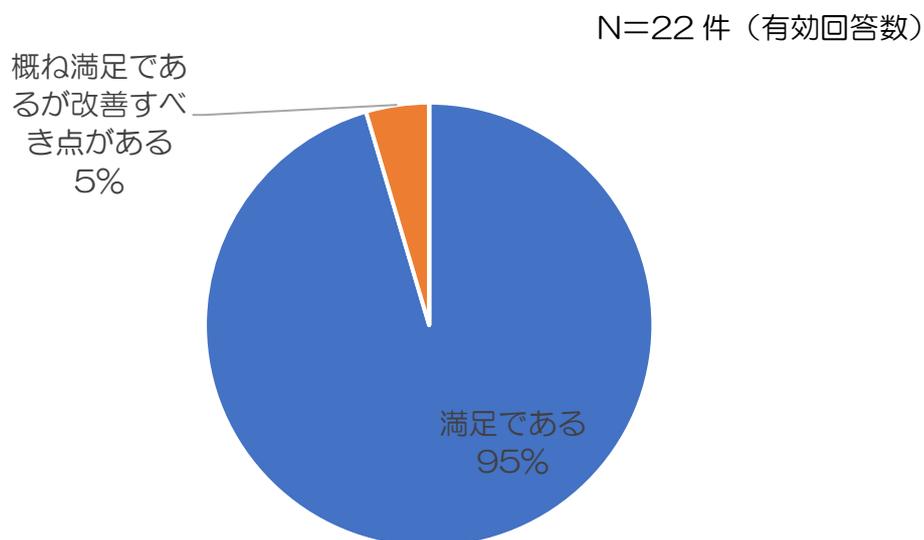
- 「期待どおりに成果が得られた」が59%（13機関）、「期待以上に成果が得られた」が27%（6機関）であり、あわせて86%（19機関）であった。
- 「ある程度得られた」が14%（3機関）であった。
- 「あまり得られなかった」と「得られなかった」との回答はなかった。

【問4 共同研究・受託研究に関する契約事務（事前打合せ～締結）はいかがでしたか？】



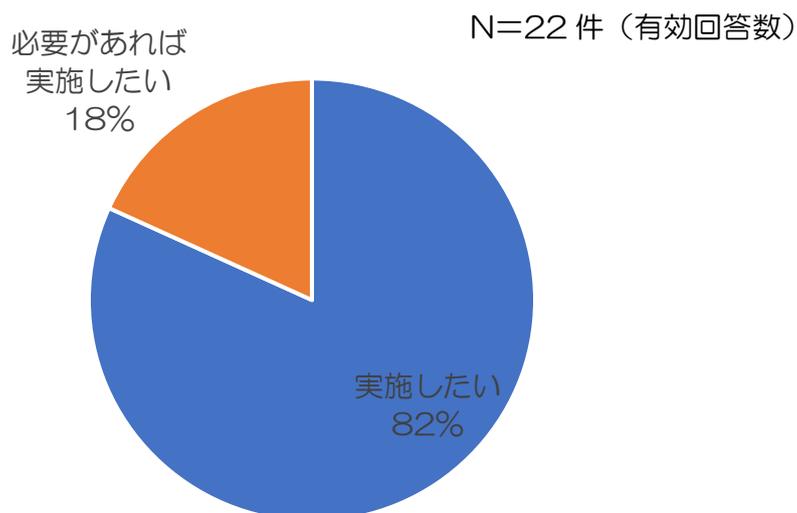
- 「満足である」が86%（19機関）であった。
- 「概ね満足であるが改善すべき点がある」が14%（3機関）であった。
- 「不満である」との回答はなかった。

【問5 共同研究・受託研究における打合せ・進捗状況報告・成果報告など道総研とのコミュニケーションはいかがでしたか？】



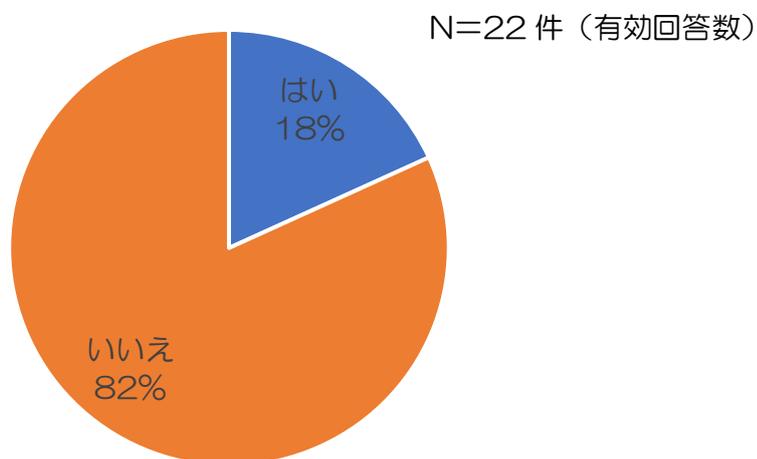
- 「満足である」が95%（21機関）であった。
- 「概ね満足であるが改善すべき点がある」が5%（1機関）であった。
- 「不満である」との回答はなかった。

【問6 今後も、道総研の研究機関と共同研究・受託研究を実施したいと思いますか？】



- 「実施したい」が82%（18機関）であった。「必要があれば実施したい」18%（4機関）とあわせると100%（22機関）となる。
- 「実施したいとは思わない」との回答はなかった。

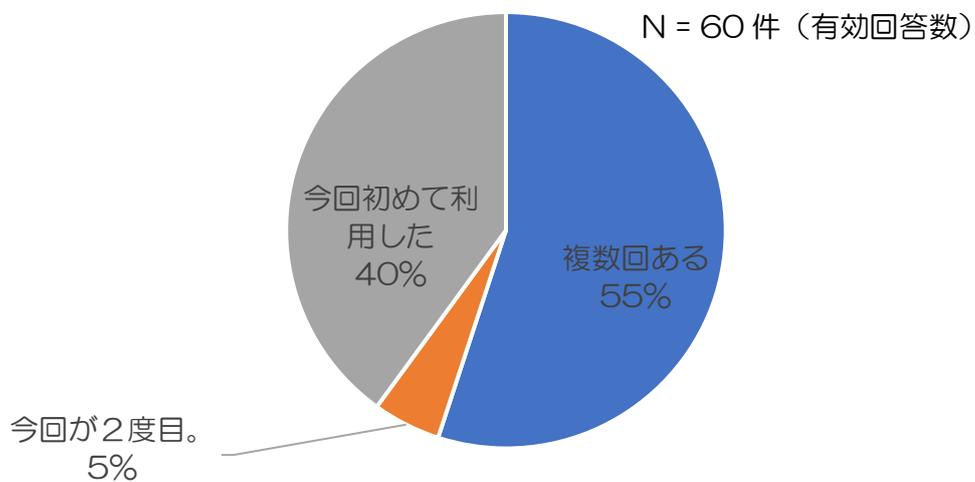
【問7 道総研の研究機関と共同研究・受託研究について他の方にご紹介されたことはありますか。あるいは興味を持っている方はいらっしゃいますか。】



- 「いいえ」が82%（18機関）であった。
- 「はい」が18%（4機関）であった。

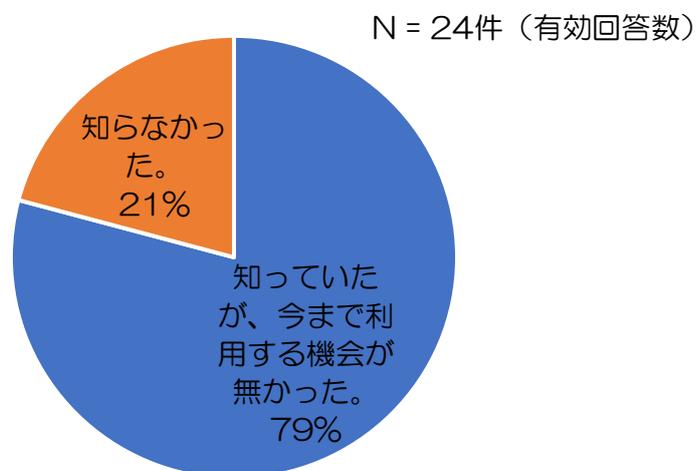
### 3. 利用者意見把握調査（技術支援）

【問1 今までも、道総研の技術支援制度を利用したことがありますか？（利用経験）】



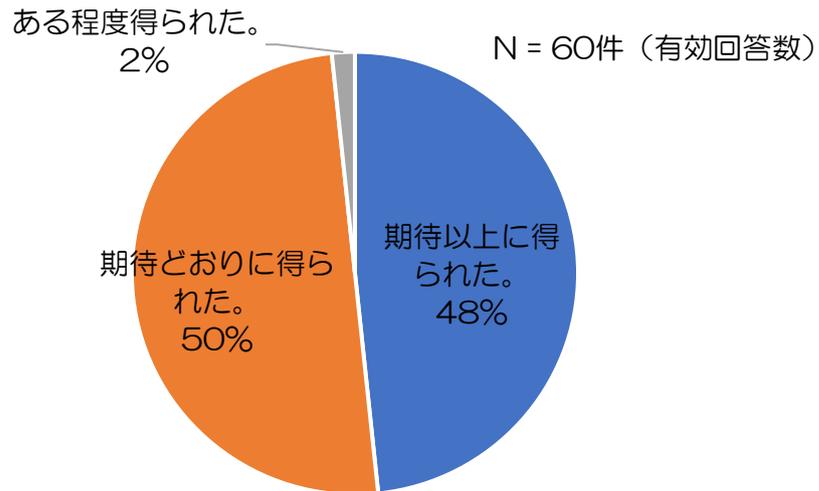
- 「複数回ある」が55%（33件）で最も多かった。
- 「今回初めて利用した」は40%（24件）、「今回が2度目」が5%（3件）であった。

【問2 今回初めて利用された方は、以前から道総研をご存知でしたか？（認知）】



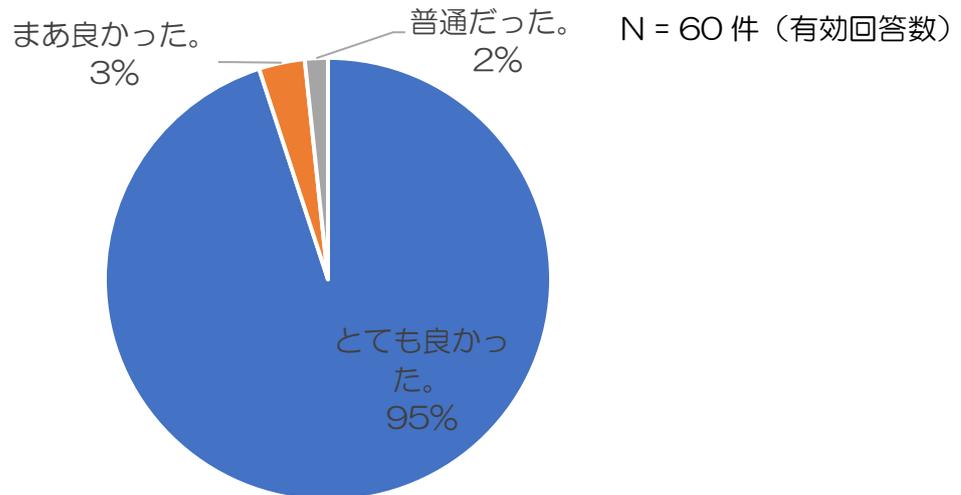
- 「知っていたが、今まで利用する機会が無かった」が79%（19件）であった。

【問3 今回の技術支援につきまして、満足のいく支援が得られたと思いますか？（評価）】



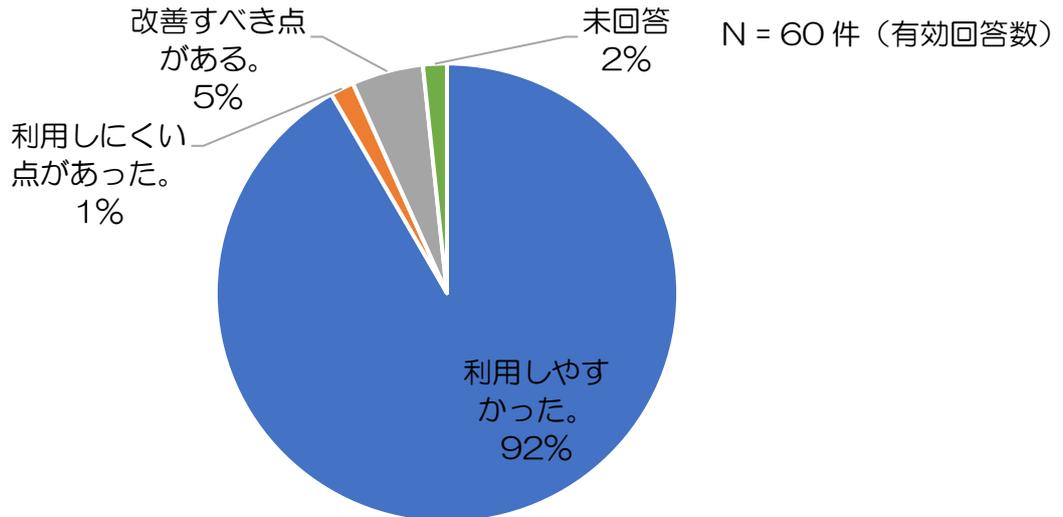
- 「期待以上に得られた」が48%（29件）、「期待通りに得られた」が50%（30件）、「ある程度得られた」が2%（1件）であった。
- 「あまり得られなかった」、「得られなかった」との回答はなかった。

【問4 職員の対応はいかがでしたか？（職員対応）】



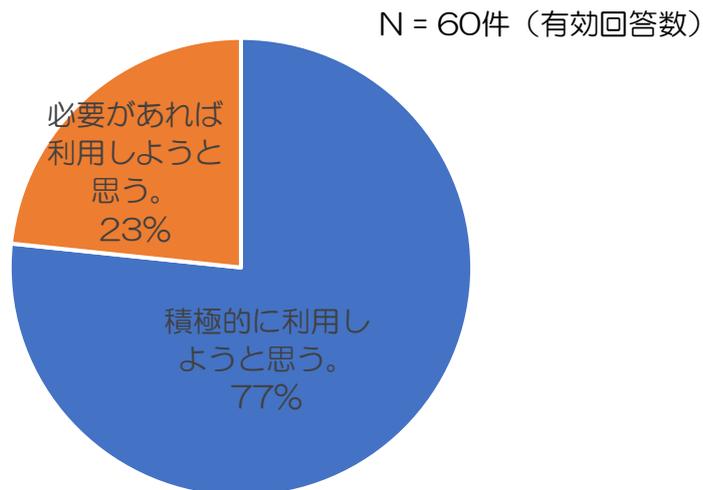
- 「とても良かった」が95%（57件）、「まあ良かった」が3%（2件）、「普通だった」が2%（1件）であった。
- 「あまり良くなかった」、「良くなかった」との回答はなかった。

【問5 技術支援について、手続き等、利用しやすさはいかがでしたか？（改善要望）】



- 「利用しやすかった」が92%（55件）であった。
- 「利用しにくい点があった」が1%（1件）、「改善すべき点がある」が5%（3件）、「利用しにくかった」の回答はなかった。
- 「利用しにくい点・改善すべき点」の内訳としては、「手続きの煩雑さ」が2件（技術支援・上川農試、課題対応型支援・北総研）、「利用料金」1件（課題対応型支援・法人本部）、「相談する部署が分かりにくい」が4件（設備使用・工試、視察見学の申し込み・中央農試験/林産試2件）、「ホームページが分かりにくい」2件（設備使用・工試、課題対応型支援・北総研）であった。

【問6 今後も、道総研を利用しようと思いますか？（継続利用）】



- 「積極的に利用しようと思う」が77%（46件）、「必要があれば利用しようと思う」が23%（14件）であった。
- 「あまり利用しようと思わない」、「多分利用しないと思う」との回答はなかった。

## 4. 利用者意見把握調査（知的財産）

【問1 現在ご利用の知的財産権はどのように知りましたか（新規契約先）（複数回答可）】

N = 3（有効回答数）

項目	件数
①共同研究	1
②成果発表会	1
③イベント	0
④道総研 HP	1
⑤他機関からの紹介	0
⑥その他	1

【問2 知的財産を利用して満足いく成果が得られていますか（新規契約先）】

N = 3件（有効回答数）

項目	件数
①期待以上	0
②期待通り	0
③ある程度	1
④あり得られていない	1
⑤得られていない	1

【問3 実施契約に関する事務について（1）手続の進め方(打ち合わせなど)について（新規契約先・契約満了先）】

N = 4 件（有効回答数）

項目	件数
①満足	1
②まあ満足	3
③やや不満	0
④不満	0

【問3 実施契約に関する事務について（2）契約条件について（新規契約先・契約満了先）】

N = 3 件（有効回答数）

項目	件数
①満足	0
②まあ満足	3
③やや不満	0
④不満	0

（未回答 1 機関）

【問3 実施契約に関する事務について（3）利用しにくい点や改善点について（新規契約先・契約満了先）】

○ 特になし。

【問4 道総研保有の知財について、より利用しやすいものにするために必要なこと（複数回答可）】

N = 4 件（有効回答数）

項目	件数
①PR活動	3
②契約事務の簡素化	1
③契約条件の見直し	1
④フォローアップ	0
⑤その他	0